



「ふれあい」は
ホームページ
でもご覧いた
できます



■■■ 9月 イベントカレンダー ■■■

6日(土) 不思議ナイト (大代地区公民館 社会教育事業)

10日(水) 山茶花大学 (大代地区公民館 社会教育事業)

13日(土) ハンドメイド作家養成工房 (大代地区公民館 社会教育事業)

大代五区慰霊祭

8月20日(水)に大代地区の伝統行事の慰霊祭を開催しました。

最近は暑い日が多く、当日も暑い日でしたが、準備から地域の皆様のご協力をいただき、式を行うことができました。

深谷多賀城市長にもご参列いただき、西園寺住職様による納経、暁流仙台南支部の皆様による奉納舞踊、多賀城踊りをご参加いただいた皆様で踊りました。

また、今年は手持ちの花火を準備し、ご家族でお楽しみいただきました。露店では、かき氷、フランクフルト、おもちゃなどが出店し、キッチンカーでは、モカソフト、アイスコーヒーの販売などもありました。



準備等でご協力くださいました地域の皆さま、ありがとうございました

リレー投稿 ぶらり町内

大代五区をぶらり歩いて出会うものを紹介するリレー投稿。6回目は、大代西の小野雄一さんからの砂押川についての投稿です。

県知事が指定管理を行う

砂押川 2級河川

大代西 小野雄一

現在の砂押川は、市の北西部から東へ流れ、貞山運河に合流しています。

このような流路になったのは、御舟入堀(おふないりぼり)が完成した寛文(かんぶん)13年(1673年)のことで、それ以前は七ヶ浜町湊浜から太平洋に、直接注いでいたと言われています。



昭和30年頃、私の記憶というか思い出として残っていることを書きます。今の念仏橋(昔は木造作り)近辺の状況についてです。

私の家は、漁と農業の兼業で生計を立てていました。

川で魚釣りの餌となるゴカイを取って、釣具屋さんと取り引きしていました。また、ウナギも取って、さばいて料亭等に持って行ったり、シジミ貝などもいっぱい取れて、仙台の町にも販売しに行ったりしたとか。親たちは宝の川と言っていました。

その当時は、川の水もきれいで、自然の堤防で干潟も数多く点在して、カニ穴がいっぱいあって、両手で畦探(あぜさがし)して、いろいろな魚を素手で取りました。また、秋には、ハゼ釣り、冬

場はオオゲイ(マルタ)やミョウゲツ(メナダ)などいろいろな魚が取れました。この漁は、夜に川の潮が引いてきたとき、胴長というゴム長靴を履いてカンテラ灯で川面を照らして魚を見つけて、ヤスで刺してとる漁でした。

砂押川は、正に宝の川だったのだと思います。

今回、砂押川の事を調べたら、ここには書ききれないほど多くの歴史がありました。



標識には「上流端」「砂押川合流点」と記載されています。

砂押川が貞山運河に合流し、この地点が貞山運河の上流端になっていることを示しています。

多賀城市総合防災訓練に参加しましょう！

大代地区では、11月8日(土)に開催される多賀城市総合防災訓練に参加し、避難場所(多賀城東小学校)において、5区町内会、消防団、女性防火クラブ、小中学校、現地班と連携して、各種の訓練を行う予定です。今年は大雨を想定した訓練となっています。訓練を通して、自助・共助について学び、いざというときに役立つようにしましょう。

風水害から身を守るポイント

今回は、台風・豪雨時の避難について取り上げます。

避難のポイント

- ①多賀城市から出される避難情報と警戒レベル・とるべき行動を右の表で確認しましょう。
- ②気象庁から発表される雨量情報や気象情報も確認しておきましょう。
雨量情報⇒「注意報」「警報」「特別警報」
気象情報⇒「記録的短時間大雨情報」
「顕著な大雨に関する気象情報」
「土砂災害警戒警報」
- ③避難場所を確認し、避難行動を決めておきましょう。
指定緊急避難場所(多賀城東小)へ
安全な親戚・知人宅へ
安全なホテル・旅館へ
屋内安全確保

「3つの条件」が確認できれば、自宅に留まり安全を確保することも可能です。

<3つの条件>

- ①家が倒壊するおそれなし
- ②ハザードマップの浸水深より居室は高い
- ③水が引くまで我慢でき、水・食料などの備えが十分

「警戒レベル」と「とるべき行動」を確認！

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難！			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

広報部では、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。

この2次元コードを読み取り、送信することができます。



防災キャンプに地域の住民として参加して

大代南区 緒方 馨

世は、正しい情報化の時代、当然人間の価値観も大きく変化し、兄弟力を合わせてそれぞれ人間成果のために克己、勉励し努力をし防災キャンプに参加し、全員が怪我事故、脱落者もなく有意義で笑顔を持って一心乱れることなく終了したことに感謝申し上げます。

さて、子ども達が次第に成長し一人前に大人になっていくためにたくさんの事を学び身につける必要があり、その一つは「あなたの責任」「私の責任」であります。東日本大震災の教訓を児童に伝える写真や体験談から、被害の深刻さを改めて知る事が出来ました。

復興を前向きに進めてきた人々や子どもたちの想いがひしひしと伝わってくると、子ども達も感想をのべていました。

道に遺を拾わず邪悪なものがはびこっている世に迷わされて道を踏み外さないように、学んだことを心にしっかりと刻んで人生を歩んでもらいたいと思います。

また、放縦、我儘な考えを排除し、一人一人が自分の長所を伸ばし短所を補い、お互いの人格を尊重し責任ある行動をとり、健全な明るい住みよい社会をつくれる人になってほしいです。

「組織」は人なりと言われるように、「人の和を大切に」し、お互いが一個の人間として尊重し合いながら自分を磨き成長して組織として力を発揮しなければなりません。

「人道第一」精神を伝え、お互いを思いやる気持ちを持ち、そして強く明るく健全な姿に成長していく大人になることを希望します。

大代地区女性防火クラブから研修のご案内

大代地区女性防火クラブでは、10月23日（木）に移動研修を下記のとおり行います。どなたでも参加可能ですので、ご希望の方は、大代西区の小野雅代さんまでご連絡ください。バスの定員には限りがあり、申し込みが多数の場合はご参加できない場合もありますので、ご希望の方はお早めにご連絡ください。

記

日 時：令和7年10月23日（木）午前8時30分から午後4時30分まで（予定）

研修場所：女川原子力発電所

行 程：大代地区公民館発（8：30）

↓

女川原子力PRセンター（10：00～12：30）

↓

女川駅前エリア・かまぼこの高政工場（13：00～14：40）

↓

道の駅東松島（15：20～15：40）→大代地区公民館着（16：30）

「 次号投稿締切
9月15日（月）
」

発 行：大代地区コミュニティ推進協議会 広報部
事務局：大代地区公民館
TEL：022-364-8442 FAX：022-364-8453